



市制施行
55周年

私も、あなたも、みんなが主役！ えびな市民まつり²⁰²⁶

園えびな市民まつり実行委員会事務局（市民活動推進課内） ☎046 (235) 4794

11月15日(日)、海老名運動公園で「市制施行55周年えびな市民まつり2026」を開催します。ことしは市制施行55周年を記念し、花火は過去最大規模となる5,500発を打ち上げます。開催時間も30分拡大して、開始時間を9時30分からに早めました。世代を超え、一人一人の笑顔あふれる特別な空間として楽しめるよう、祭りの魅力を紹介します。

ボランティアスタッフ

ボランティアスタッフ
池谷さん

大好きな海老名でできること

大好きな海老名で、自分にできる形で地域貢献したいという思いがあり、4回目の参加となります。私は足に障がいがありますが、内側から祭りを支えることがとても楽しいです。内側・外側問わず、55周年の祭りを楽しみましょう。



はやし出演団体

はやし団体 本郷下河内囃子連の
武井さん一家

3世代でつなぐ伝統の音

「息子・孫と3世代が太鼓でつながっていることがうれしい。一生懸命練習した成果を見てほしい」と祖父の克夫さん。孫の悠人さんは「みんなで叩いて、バシッと揃った時の達成感が好きです」と目を輝かせていました。



ブース出展団体

飲食店
Riseの中野さん

古き良さ、新しき良さがここに

おいしい料理の提供はもちろん、ブースを屋台のような演出にするなど、私たち自身も祭りを楽しむことを心がけています。子どもたちには自分が幼い頃に感じた楽しさを、そして大人には懐かしさを体験・体感してほしいと思います。



ステージ出演団体

ダンスチーム
team-e ☆ Stellaの皆さん

ダンスを通じて地域に貢献

小学校1年生から中学校1年生までのチームで、「元気・笑顔・感謝」がモットーです。子どもたちが主体で盛り上げるMCや、ダンサーの笑顔が創り上げる一体感のある空間からパワーをお届けします。一緒に祭りを楽しみましょう。



ステージ出演団体

ダンスチーム
AEGアフタースクールの皆さん

ワクワク、ドキドキする舞台

初めての出演で、頑張るぞという気持ちと緊張が入り混じっています。音楽に合わせてポーズを揃え、指先・爪先まで意識しています。側転などアクロバットな技も取り入れた小学生のヒップホップ・ジャズのミックスダンスを見に来てください。



「えびなふるさとまつり」から続く約50年の祭りの歴史をはじめ、ステージ出演者や祭りを支えるボランティアへのインタビュー、花火打ち上げの裏側など、「えびな市民まつり」を深掘りしました。中面の折り込みチラシと併せて、ワクワクを高めていきましょう。



平成28(2016)年

いきものがかりがサプライズ登場。花火打ち上げのカウントダウンで会場は大盛況。

平成23(2011)年

市制施行40周年の第36回目から会場を海老名運動公園に移した。この年の1月に誕生したえび〜にやも初参加。

平成18(2006)年

第31回目のこの年から「えびな市民まつり」に名称を変更。

平成2(1990)年

第15回目のこの年から現市役所周辺に会場を移した。

昭和55(1980)年

第5回目は、現在の文化会館周辺にあった小田急グラウンドで。目玉企画はウルトラマンショー。

昭和51(1976)年

「第1回ふるさとまつり」は、市制施行50周年記念事業として行った。現在の海老名プライムタワーの場所にあった旧市役所で開催。

50年のあゆみ

昔も今も
これからも